

## 令和7年度 第3回 魚津市立道下小学校運営協議会 記録

1 日時 令和8年2月27日(金) 15:30~16:40

2 場所 道下小学校会議室

3 出席者 7名

会長、副会長、委員5名(学校3名含む)

4 内容

(1) 開会のあいさつ(本元会長)

(2) 学校運営について今年度の成果と課題

①はじめに 八王子市視察より(校長)

・本校の取組の参考として紹介「地域の特徴を活かした活動」「熟議について」等

②学校の取組 学校だよりを基に(校長)

・学年関係なく協力する姿、雪道の安全、学習サポーター等について

③いじめ、不登校の実態(校長)

・いじめ認知件数、長期欠席児童の実態等

④学校の働き方改革について(校長)

・本校教職員の月ごとの時間外在校等時間の平均を基に

⑤学校の取組アンケート評価(教頭)

・保護者アンケート結果を基に学校関係者評価

(3) 学校及び児童に関する意見交換

・不登校児童に関しては、人の役に立つ経験や自分に何ができるか興味あるものに取り組む経験が重要だと考える。今後も学校と家庭が協力して継続した支援をしてほしい。

・保護者アンケートで「お子さんは…」と聞いている項目は、家庭の教育力に大きく関わってくる。家庭の教育力を高めてほしいとも捉えることもできる。

・子供たちは、あいさつが元気にできている、また礼儀正しいと思う。一方で、地域の大人が子供と接する機会が減っている。学校運営協議会の委員となり、子供たちの生き生きとした活動や先生方ががんばっていることを知ることができるのは非常によい機会である。

・地域の活動に親の世代がなかなか出てこないという実態がある。育成会では、年2回のドッジボール大会を企画している。参加者も多く好評である。

・道路を渡ろうとする1年生が、車がまだ遠くに見える位置からしっかり待ち、そして、停止してくれた車の運転手に会釈をするというほほえましい姿が見られた。

・放課後に遊ぶ際の約束等は、現在、どのように決まっているか。→(回答)帰宅時刻や大人の人がない友達の家には遊びに行かないなど約束ごとがある。→親同士で確認し合うことが大切であると思う。

(4) 次年度に向けての学校運営方針の承認

①学校、家庭、地域で子供たちを育む →「やさしく」「かしこく」「元気な子」の視点で

②その際のポイント

・地域とともにある学校づくり

・素直で優しい子たちだからこそ

・教職員の健康な心と体が土台

・スマホ、SNSへの対応

(5) 閉会

・次年度の委員の内諾、第1回運営協議会予定日…5/22(金)

